



2020年4月28日

各 位

会社名 新京成電鉄株式会社
代表者名 代表取締役社長 眞下 幸人
(コード番号 9014 東証第1部)
問合せ先 経営企画室経営計画担当課長
鈴木 克明
(TEL 047-389-9918)

中期経営計画(2019年度～2021年度)の進捗について

当社グループでは、2019年4月に開示いたしました中期経営計画(S4計画、2019～2021年度)に基づき、諸施策に取り組んでおります。

今般、2019年度に実施した取り組みをご報告するとともに、中期経営計画で推進する諸計画につきましてお知らせいたします。

《S4計画について》

長期経営計画(2010～2021年度)の最終ステップとなるS4計画のテーマは「諸施策の結実による経営目標の達成」としており、各部門・グループ各社の連携、諸施策の結実により強い新京成・選ばれる新京成への進化を達成させるとともに、次の長期経営計画に向けての布石の期間としております。

以 上

中期経営計画の進捗について

S4計画（2019年度～2021年度）

《 諸施策の結実による経営目標達成 》



新京成電鉄株式会社

(9014)

1. 中期経営計画「S4計画」基本戦略

2. 中期経営計画「S4計画」進捗状況

戦略① 社会・インフラとしての責務の遂行

戦略② 鎌ヶ谷市内高架化の完成と高架下周辺の整備

戦略③ 基幹事業を柱とする街づくりと新たな事業の推進

戦略④ 次世代につながる強い企業体質の構築

3. 中期経営計画「S4計画」数値（実績・目標）

1. S4計画 基本戦略

◆ S4計画のテーマと意義

第4ステップ計画（S4計画）のテーマは「**諸施策の結実による経営目標達成**」である。

長期経営計画最終ステップとなるS4計画では、各部門・グループ各社の連携、諸施策の結実により強い新京成・選ばれる新京成への進化を達成させるとともに、次の長期経営計画に向けての布石とする。

S4計画 基本戦略

① 社会・公共インフラとしての責務の遂行

⇒自然災害対策をはじめとする安全・安心への恒久対策、ホームドア等さらなるバリアフリーの充実

② 鎌ヶ谷市内高架化の完成と高架下周辺の整備

⇒2019年度上下線高架化と高架下および周辺の有効活用

③ 基幹事業を柱とする街づくりと新たな事業の推進

⇒基幹事業である鉄道・不動産およびグループ会社事業の強化促進と、周辺事業の拡大

④ 次世代につながる強い企業体質の構築

⇒将来の人口減や大規模投資を見据え、効率化・業務体制強化・企業価値向上等の一層の追求
(働き方改革、人材力・内部統制・コンプライアンス・財務体質強化等)

1. 中期経営計画「S4計画」基本戦略

2. 中期経営計画「S4計画」進捗状況

戦略① 社会・インフラとしての責務の遂行

戦略② 鎌ヶ谷市内高架化の完成と高架下周辺の整備

戦略③ 基幹事業を柱とする街づくりと新たな事業の推進

戦略④ 次世代につながる強い企業体質の構築

3. 中期経営計画「S4計画」数値（実績・目標）

2. 中期経営計画「S4計画」進捗状況

強い新京成・選ばれる新京成を
持続可能とするため、SDGsへの
取り組みを推進していきます。



S4計画 基本戦略	2019年度 (実績)	2020年度 (計画)	2021年度 (計画)	2022年度～ (予定)
戦略① 社会・公共インフラとしての責務の遂行				
駅舎耐震補強工事	・常盤平駅 ・松戸駅	・みのり台駅	・松戸駅自由通路 ・松戸新田駅 (建替え)	・駅ご線橋、橋梁
土留め擁壁補強工事		・松戸新田駅		
デジタルATSの導入	・鎌ヶ谷大仏駅～くぬぎ山駅間 上り線 (高架)		・北習志野駅構内	・全線完了 2022年度予定
駅施設バリアフリー設備の推進	・前原駅ホームかさ上げ および内方線新設、 多機能トイレ化工事	・前原駅ホームかさ上げ および内方線新設	・常盤平駅ホームかさ上げ および内方線新設 ・滝不動駅ホームかさ上げ および内方線新設	
戦略② 鎌ヶ谷市内高架化の完成と高架下周辺の整備				
鎌ヶ谷大仏駅～くぬぎ山駅間 連続立体交差事業	・上り線高架化			・事業完了 2024年度予定
保有資産の有効活用	【高架下および周辺地区】 ・北初富地区 ・新鎌ヶ谷地区 ・初富地区			
戦略③ 基幹事業を柱とする街づくりと新たな事業の推進				
お客さま誘致イベントの実施	【毎年開催】 新京成サンクスフェスタ、沿線健康ハイキング、各種スタンプラリー、フルーツ狩り 等			
新津田沼地区開発計画		・習志野市新津田沼地区開発計画の策定		
新規賃貸物件の開発	・八千代市吉橋土地7街区賃貸開始		・八千代市吉橋土地開発	
収益物件の購入	・稲毛駅前複合賃貸ビル取得		・賃貸用物件の購入	
バス事業における収益力強化	・高速バス (東京デイズ・リーゾー・線) 開業		・新規路線開業、既存路線見直しの検討・実施	
コンビニ店舗の拡充	・新鎌ヶ谷店、北習志野店開業			
戦略④ 次世代につながる強い企業体質の構築				
新形式車両「80000形」の導入	・1編成導入		・1編成導入	
電車車両インバータ装置更新	・1編成実施	・1編成実施	・1編成実施	
人材力の活用と働き方改革対応	・人材確保・活用 ・働き方改革への対応			
サービス品質の向上	・駅施設の改良・美化 ・サービス・品質向上に係る取り組み			

2. 中期経営計画「S4計画」進捗状況

戦略① 社会・公共インフラとしての責務の遂行



◆駅舎耐震補強工事

- ・常盤平駅、松戸駅（2019年度完了）
- ・みのり台駅（2020年度）
- ・松戸駅自由通路、松戸新田駅（2021年度建替え）



常盤平駅耐震補強

◆土留め擁壁補強工事

- ・松戸新田駅（2019～2020年度）



土留め補強（イメージ）

◆デジタルATSの導入（2022年度全線完了）

- ・鎌ヶ谷大仏駅～くぬぎ山駅間（上り線高架/2019年度完了）
- ・北習志野駅構内（2021年度）

◆駅施設バリアフリー設備の推進（前原駅/2020年度）

- ・ホームのかさ上げ
- ・ホーム内側が分かる線状突起付き点状ブロック新設
- ・多機能トイレ化工事（2019年度完了）



前原駅多機能トイレ

2. 中期経営計画「S4計画」進捗状況

戦略② 鎌ヶ谷市内高架化の完成と
高架下周辺の整備



◆連続立体交差事業 上り線高架化の推進（2019年度全線完了）

【事業の概要】

- ・ 鎌ヶ谷大仏駅～くぬぎ山駅間約3.3kmの高架化
- ・ 12ヵ所の踏切を廃止

【事業による効果】

- ・ 鎌ヶ谷市内の交通渋滞の緩和
- ・ 踏切事故の解消
- ・ 街の分断が解消され総合的な街づくりが可能に



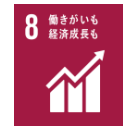
北初富駅～新鎌ヶ谷駅間



新鎌ヶ谷駅出入口

2. 中期経営計画「S4計画」進捗状況

戦略③ 基幹事業を柱とする街づくり
と新たな事業の推進



◆お客さま誘致イベント



新京成サンクスフェスタ
(写真は2019年度開催のもの)



旅客誘致に特化したホームページの開設



新京成沿線健康ハイキング



沿線の観光農園と連携したフルーツ狩り

2. 中期経営計画「S4計画」進捗状況

戦略③ 基幹事業を柱とする街づくり
と新たな事業の推進



◆新規賃貸物件の開発

- ・八千代市吉橋土地の開発を推進



企業向け貸し農園用土地
賃貸開始 (2019年度)

◆収益物件の購入

稲毛駅前複合賃貸ビル取得
(2019年度)



戦略④ 次世代につながる強い
企業体質の構築



◆新形式車両導入

- ・安全・快適・省エネを追求した80000形導入

1次車1編成導入 (2019年度)



◆人材力の活用と働き方改革対応

- ・人材確保・活用
- ・働き方改革への対応

◆サービス品質の向上

- ・次世代を見据えた鉄道施設、設備の配置
- ・サービススキル・品質向上に係る取り組み

1. 中期経営計画「S4計画」基本戦略

2. 中期経営計画「S4計画」進捗状況

戦略① 社会・インフラとしての責務の遂行

戦略② 鎌ヶ谷市内高架化の完成と高架下周辺の整備

戦略③ 基幹事業を柱とする街づくりと新たな事業の推進

戦略④ 次世代につながる強い企業体質の構築

3. 中期経営計画「S4計画」数値（実績・目標）

3. 中期経営計画「S4計画」数値（実績・目標）

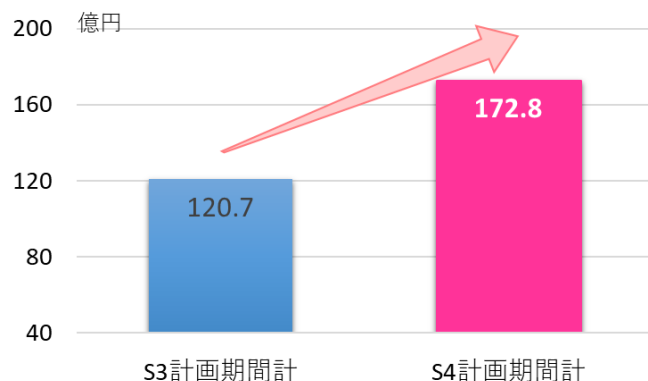
◆連結数値

	2019年度 実績	2021年度 目標
営業収益	213.0億円	223億円以上
営業利益	29.1億円	33億円以上
親会社株主に帰属する 当期純利益	23.5億円	25億円以上

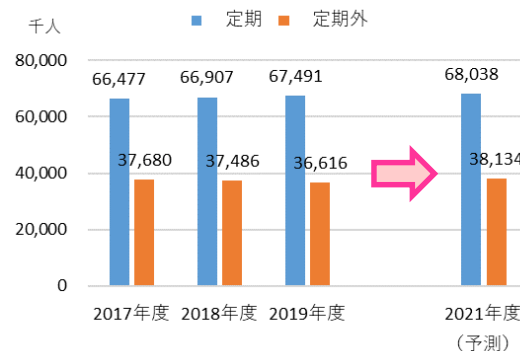
◆セグメント別数値

営業利益	2019年度 実績	2021年度 目標
運輸業	12.2億円	15億円以上
不動産業	15.7億円	16億円以上
その他（コンビニ事業等）	0.9億円	1億円以上

◆設備投資額の推移



◆輸送人員予測（鉄道事業）



S4計画期間中も沿線人口微増を見込む

※本年発生した新型コロナウイルス感染症の拡大による影響により、現時点では合理的に2020年度の計画数値を算定することは困難であるため、2021年度の目標のみを記載しております。

◆その他 環境や社会への取り組みとして



新型VVVFインバータ装置により
現行の8800形と比較し使用電力量約35%削減



太陽光エネルギーの活用により
CO2を年間約9,050kg 削減



鉄道職員体験



新京成カップ
(少年サッカー大会)



運輸安全マネジメント制度に基づく
内部監査や教育等の実施



環境に配慮し、地域社会とともに持続的な企業価値向上を目指します。

< 注意事項 >

本資料に記載されている情報のうち、過去の歴史的事実以外のものは将来の見通しであり、これらは現在入手可能な情報から得られた当社の経営者の判断に基づいたものとなっております。実際には様々な要因により異なる業績結果となる場合があることをご了承ください。